

山田 拓『外国人が熱狂するクールな田舎の作り方』2018年

はじめに

山田 拓 2007年(株)美ら地球代表取締役 @岐阜県飛騨市

農村部サイクリングツアー提供(2016年約3500人が参加、8割は外国人、そのうち8割は欧米豪)

☞何気ない日常こそが最高のコンテンツ

世界放浪中に日本の田舎に住むことを決意、しかし、、、実際には田舎がなくなっていた！

田舎の価値を継承する住民を確保する！そのため暮らしを題材にした観光ビジネスをする！！

第一章 グローバルカンパニーと世界放浪を経て飛騨へ

大学院修了→米国コンサル→海外転職→525日間の世界放浪。で、気付いたのは日本の田舎の可能性
帰国後に移住先を探すも田舎では「(空き家はあるが)空いてない」・「悪いことは言わん、帰れ」

第二章 日本の田舎は世界に通じる

Q.どうやってキーマンを動かす？ A.人は動く理由が見いだせない限り動かない☞仕事の提案してやれ
仕事の提案はボツ。しかし、飛騨市観光協会戦略アドバイザー就任。

会長「大切なのは住民の暮らし。人が生き活きしていれば旅行者は訪れる」 世界に通じる飛騨市へ！
観光ビジョン・ミッション・行動指針を作成。方法は3C、ターゲティング、HP多言語化・SNS

しかし、首長が代わり全て撤回。。。地方あるある

小さなコミュニティでは、好き嫌い>正しさ 関係性>自身の意思

第三章 タダの景色でお金を稼ごう

世界に通じる飛騨市の策☞『ガイドツアー』自分達で運営する！ 何が起きてもまず笑え！！

地域の可能性 VS 古い家屋が壊される現実。誰も当事者にならない、放置すると地域は衰退する。。。。

定量的(定性的)に地域の現実の調査☞1.失う前にやることをやるべし。2.現実に変化を創るのは困難。

キーコンセプトは「暮らしを旅する」

Q.魅力的な日常って当たり前じゃね？ A.いやいや、日常は何年もかけて守られた価値である！

地域の生活風景を垣間見る+地元民が暖かく接してくれる=旅人の心をぐっと掴む

行政の補助金・建設会社の支援・人材の確保と離脱。。。走りながら考えて SATOYAMA EXPERIENCE へ

地域を基礎にしたツーリズム 4つのHappy 1.ゲスト 2.地元企業 3.ひだびと(地元住民) 4.若者(運営者)

ステークホルダーとの協業実現のカギは「動く理由を生み出すこと」。win-win 関係を成立させること

第四章 大変だけど楽しい田舎暮らし

田舎(飛騨の古民家)は激寒、薪・畑は手間がかかる。地域しがらみあり。

しかし、地域価値の一部になれる充実感。自然のなかでの生活等お金の換算できない価値あり。

結局は…(場所・人・生きがいで)自分なりのライフスタイルに向き合い実現させていくことが大事。

第五章 企業経営の手法を地域経営に

活動は集客力あり、高い満足度、滞在時間や定住人口増加、生きがいにも貢献。しかし、人口減止められない！
交流産業視点で飛騨の強み 1.観光資源の集積 2.観光産業基盤が盤石 しかし、旅行者増≠定住人口増
今後はオーバーツーリズムも考慮する必要あり☞ニセコや高山を注視せよ

重要なのは what ではなく how(=方法論) マーケティングはペルソナ設定・マネジメントはPDCA

まちづくり協議会も「(地域有力者は)カネは出しても口は出すな」若者は(地域を)「ジブンゴト」と捉えよ
「定住人口の増加を」と叫ぶのは簡単・どこでもやっている。しかし「人事部」となれているか？

A.地方移住はキャリアダウンか？ Q.自分達の強みを活かせれば、地方への移住はキャリアアップにもなり得る

第六章 日本と世界の田舎をクールに

日常の風景を観光資源とするのは他地域でも可。地域が存続する唯一の？手段はインバウンドツーリズム
重要なのは地域の素晴らしさを商品にすること。課題は供給(地域側)にあり！日常が商品になってない！
着地型観光(もはや死語?)は多くは上手くいっていない

Q.どうやって着地型観光成立させる？ A. 1. 外国人と向き合へ 2.活動を続けよ

他県の人材育成・日本各地での講演=他地域の happy へ。地方はまだまだ人材少ない

里山の叡智(日常の魅力)の理解者は『よそ者』…「里山から SATOYAMA へ」日本人だけでは里山は維持不可

地方創生への処方箋

DMO はマーケティングを推進できる機能を構築せよ。意思決定者がマネジメントとマーケティングを学べ
少なすぎるプレーヤーと多すぎる支援者という構造を異常と認識せよ。『支援慣れ』禁止

数世代先まで考えて危機感を持って行動せよ。逃げ切り無責任禁止

「観光」から「ツーリズム」へ移行せよ。世界標準の広い選択肢を揃えよ

長いスパンでやり続けよ。予算頼み、思い付きの移住・定住政策、場当たり海外プロモーション☞意味なし！

必要なのは地域の将来像を得ようとする「意志の総和」

☞豊かな毎日を送りたい！！構造的問題を解決するため動く！！日本を形作る価値を継承する！！

今後もずっと住んでよし、訪れてよしの地域であってくれ！！

1 著者の主張に賛成？反対？

2 どうやって宮古(生活する地元)の日常を継承していく？インバウンド推進？

3 宮古(生活する地元)の望ましい将来像とは？